

内容をご熟読ください。

Owner's Guide
取扱・取付説明書

HORNET[®] **BeeSensor[®]**

ワンタッチカーセキュリティ

BEE737-S

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

はじめに

この度はワンタッチカーセキュリティBEE737-Sをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に本書記載の取扱方法や注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でご使用ください。

なお、本書には保証書が添付されています。大切に保管してください。

本製品は、車両への衝撃、振動、侵入、ドア開け、不正なエンジン始動を検知し音と光で犯人を威嚇することができます。エンジン始動中に専用バッテリーを充電します。満充電の状態でおおよそ1週間の警戒が可能です。

センサーを用いた防犯機能は、車両盗難、車上ねらい等を抑制するものであり完全に防止するものではありません。

本製品はシガープラグ電源専用です。車両にシガーソケットが無い場合は、別売の直接電源取り出しハーネス(656H)をお買い求めください。

本製品はD.C.12V車両専用です。車両電源がD.C.24Vの場合は、別売の直接電源取り出しハーネス(656H)および24V用DCDCコンバーター(BEE-24DC)をお買い求めください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本書に掲載されている内容は2025年2月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている製品仕様、デザインは、性能向上のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET®、BeeSensor®、コードホッピング®は加藤電機株式会社の登録商標です。
アクセサリONセンサー等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の登録商標または商標です。

目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	6
同梱物をご確認ください	7
ホーネットBEE737-Sの同梱物	7
製品について	8
製品の説明	8
各部名称	8
センサーについて	9
2段階超音波センサー	9
アクセサリ-ONセンサー	9
主要装備	10
警告音/警報/確認音/確認音(消音機能)	10
7連7色LED/LED点滅パターン/7LED点滅カラー	11
各種機能の紹介	12
異常・故障検知	12
専用リモコン/コードホッピング*/メモリー機能/充電アラート機能	13
スリープモード/セキュリティ保持(レジャーム機能)	14
迷惑防止回路(NPC)/エンジンスターター・ターボタイマー併用機能	15
使用前の準備	16
車載対応ニッケル水素バッテリーの接続	16
サンバイザー設置用クリップとシガープラグ電源ハーネスの接続	17
設置方法	18
設置イメージ	18
メインユニットの固定と2段階超音波センサーマイクの調整	19
シガープラグ電源ハーネスの接続および専用バッテリーの充電	20
基本的な操作方法	21
リモコンのボタンについて/メインユニットのボタンについて	21
システムON/システムOFF	22
2段階超音波センサーの動作チェック(動き・振動・衝撃)	23
2段階超音波センサーの動作チェック(ドア開け)/アクセサリ-ONセンサーの動作チェック	24
パニックモード(強制警報)	24
応用的な操作方法	25
2段階超音波センサーをキャンセルしてシステムON(コンビニモード)	25
確認音を鳴らさずにシステムON/OFF(消音機能)	25
オートシステムON/強制解除	26
リモコンを使わないシステムON/OFF(メインユニットのボタン)	27
モード切替機能	28
セキュリティモード⇄サイレントモード	28
センサー感度調整方法	29
2段階超音波センサーの感度調整方法	29
機能設定方法	30
機能設定メニュー1	30
1. 警報開始遅延時間/2. 警報時間/3. オートシステムON/4. アクセサリ-電源入力	30
5. チャンネル2出力(オプション)/6. チャンネル2リンク(オプション)	30
7. チャンネル2リセット(オプション)	30
機能設定メニュー1の設定変更/機能設定メニュー2	31
電池の交換方法	32
リモコンの電池交換方法/製品仕様	32
Q&A、トラブルシューティング	33
Q&A、トラブルシューティング	33
アフターサービスについて	34
アフターサービスについて/セキュリティラウンジあんしんサポートについて	34
保証書について/検査・修理を依頼されるときは/お問い合わせ先	34
保証規定	35
製品保証・ユーザー登録	36

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意



危険

- 本製品はDC12V車両専用です。24V車両で使用する場合は、別売の24V用DCDCコンバーターBEE-24DCをお買い求めください。製品仕様以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



警告

- 本製品を故意に分解・改造は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解・加工・改造変更を行った製品の保証は一切していません。
- 運転の視界、車両機能（エアバックなど）の妨げにならない場所に取り付けしてください。
- 運転中は、本製品の操作をしないでください。わき見運転は、事故の原因になります。
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けております。分解・加工・改造変更はしないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品を故意に分解・加工・改造変更は絶対にしないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。システムをOFFしたり、誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。
- オプション類の取り付けには、正しい車両電装の知識が必要となります。必ず当社ホームページに掲載のある取付店に依頼してください。
- 車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
- 本製品を不用意に人やペットの近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。



注意

- 本製品は、オープンカーなど密閉性の低い車両では使用できません。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品はセンサー検知時、内蔵ブザーによる警報を行います。騒音にならないようにセンサー感度調整を周囲の環境を考慮した上で行ってください。
- 本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。
- 万一、車両盗難や車上狙い等の被害が発生しても当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品の設置は、本説明書をご熟読の上、行ってください。難しい場合は、当社ホームページに掲載されているホーネット取付店にご相談ください。

お取り扱い上の注意

使用上の注意



禁止

- 本製品のメインユニットを破損加工したり、付属のハーネスを傷つけたり無理に引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- 濡れた手で本製品、付属品を触らないでください。感電する恐れがあります。



必ずお読みください。

- 国産車限定、日本国内メーカーの車両に対応しています。並行輸入車、外国車への取付サポートはしていません。
- 当社では製品検査、修理時の代品貸し出しは一切行っておりません。また検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はおお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、粉塵防水加工が施され簡単に破壊できない構造になっていますが、故意に落としたり、叩いたりしないでください。
- 本製品の動作に関わらず、犯罪・事故が発生しても当社は一切責任を負いません。
- 地震、雷、風水害および火災、その他の事故および損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用にて生じた付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社では製品を長く安心してご利用いただくため、セキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めしています。ご登録いただけますと、製品保証の延長を受けることができます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年です。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上のため、予告なく変更される場合があります。

(1) リモコンの取り扱いに関する注意



注意

- リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコンの電池が消耗するとリモコンの効きが悪くなります。早めに電池を交換してください。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入時の使用できる期間に差があります。電池は保証対象外となりますので、電池が消耗している場合には新しい電池をお求めください。
- 電波塔に近いなど電波障害がある環境ではリモコンの見通し距離が著しく短くなる場合があります。

(2) 使用方法についての注意



注意

- 動作チェック・テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。当社では万一、破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は、内蔵の専用バッテリーで動作しますが、1週間以上車両をご使用されない場合は、スリープモードに入っているため、必ず強制解除操作を行ってから乗車してください。
- 本製品の警告音、警報音は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。
- シガープラグが抜けている、接続されていないなどの場合は、走行中であってもパニックモードにより警報音が鳴る場合があります。慌てずに安全な場所に停止し、警報音を止めてください。

同梱物をご確認ください。

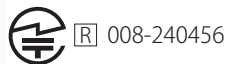
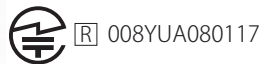
BEE737-Sの同梱物



メインユニット×1台
サンバイザー設置用クリップ×1個



専用リモコン×1個
型式:493VⅡ/493VⅢ



ボタン電池(CR2032)×1個
※ボタン電池は、リモコンにセットされています。



シガープラグ電源ハーネス×1個
型式:657H



車載対応ニッケル水素
バッテリー(1,100mAh)×1個
型式:604T



防犯ステッカー内貼り×2枚

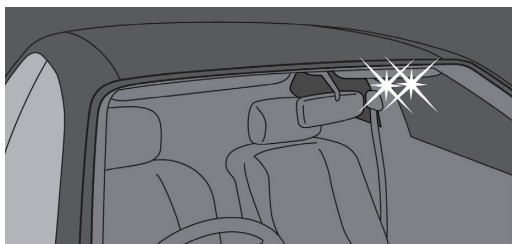
<その他>

- 取扱・取付説明書(本書)×1冊
- スポンジテープ×2枚

製品について

製品の説明

ワンタッチで設置して、防犯できるカーセキュリティシステムです。システム作動中（以下システムON）は、LEDが点滅してセキュリティ装着を周囲にアピールします。2段階超音波センサーが車体への衝撃・振動、ドア開けを検知、アクセサリONセンサーがエンジン始動を検知して最大90dBの警報音とLED点滅により犯人を威嚇します。車載対応のニッケル水素バッテリー（以下、専用バッテリー）を搭載し、満充電でおよそ1週間使用できます。エンジン作動中に充電しますので繰り返し使用することができます。



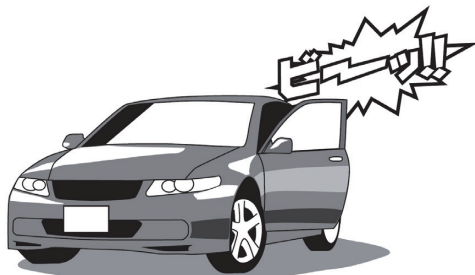
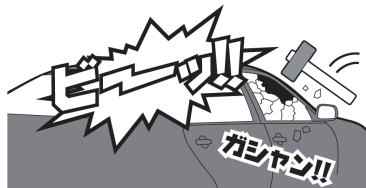
各部名称



センサーについて

2段階超音波センサー

車内に超音波を張り巡らせることで、車両への衝撃やガラス割り、さらにはドア開けや車内への侵入を検知することができます。弱い衝撃や小さな動きには警告音を鳴らし、強い衝撃や大きな動きには警報します。専用リモコンで感度調整ができます。

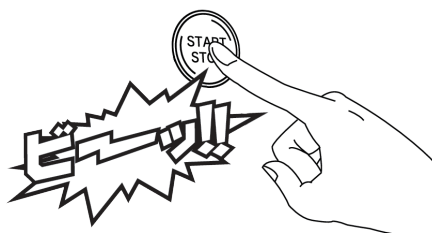


! 注意

- 超音波センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風、その他）による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にも警告音や警報音が鳴る場合があります。センサーの特長をよく理解し、ご使用環境や目的によって適切な感度に設定の上で使用ください。
- 超音波センサーは、車外の動きを検知しません。車両ボディ、その他への傷つけを防ぐことはできません。
- 純正セキュリティ等の他の超音波センサーと併用することはできません。干渉して誤警報する恐れがあります。

アクセサリーONセンサー

不正にエンジン始動されたことを検知し警報します。



主要装備

警告音

2段階超音波センサーが車体への弱い衝撃や車内の小さな動きを検知した時に「ピッピッピッ」と2秒間ブザー音が鳴ります。

警報

センサーが車体への強い衝撃や車内の大きな動き、エンジン始動を検知した時に「ビーッビーッビーッ・・・」とブザーによる警報音が鳴ります。同時にLEDがレッド/ブルー交互に点滅します。警報は30秒(初期設定)で止まります。



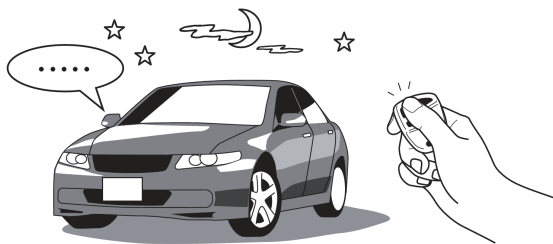
レッド/ブルー交互に点滅

確認音

システムONの時に「ピッ」、システムOFFの時に「ピッピッ」と内蔵ブザーが鳴ります。

確認音 (消音機能)

確認音を鳴らせずにシステムON/システムOFFすることができます。操作方法については(P.25)をご参照ください。



主要装備

7連7色LED

システムON中は、LEDが赤色に点滅して周囲にカーセキュリティの装着をアピールします。

警報中の30秒間(初期設定)は、レッド/ブルーが交互に点滅して周囲に異常を知らせます。お好みのLED点滅カラーやLED点滅パターンに設定変更できます。

LED点滅パターン

8種類から選択できます。



LED点滅カラー

7色とランダムから選択できます。



レッド

ブルー

ホワイト

グリーン



イエロー

パープル

オレンジ

ランダム

2次元コードを読み取ってください。
動画でLED点滅パターンと点滅カラーを確認できます。




各種機能の紹介

異常・故障検知

エンジン始動時に各機能が正常作動していることをLEDの点灯状態で確認できます。LEDは30秒後に消灯します。




機能	正常時	異常時
①電源	青(点灯)	赤(点灯)
②2段階超音波センサー	青(点灯)	赤(点灯)
③バッテリー残量	青(点灯)	黄(30～60%)、赤(0～30%)
④車両ホーン	青(点灯)	赤(点灯)
⑤内蔵ブザー	青(点灯)	赤(点灯)



ヒント

- システム ON/OFF の時に「ピッピッピッ」と確認音が鳴る場合は、充電アラート機能 (P.13) が作動しています。2 時間以上の充電をしてから使用してください。



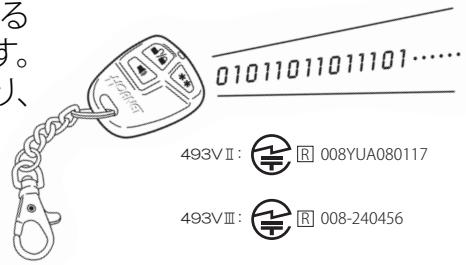
警告

- 異常がある状態で使用しないでください。誤作動の原因になります。

各種機能の紹介

専用リモコン

システムON/OFFを含む各種操作ができる生活防水タイプのデジタルリモコンです。IDコードは7378京6936兆通り以上あり、操作範囲はおよそ20mです。



コードホッピング®

特殊なプログラムでリモコンのIDコードをランダムに変化させるコードホッピング®機能によりIDコードの盗難を防止します。

メモリー機能

システムON中に警報したことをシステムOFF時の確認音とLEDの点滅で確認することができます。

操作	確認音	LED
システムON	ピッ	点滅
システムOFF	ピッピッ	消灯
システムOFF (警報あり)	ピッピッピッピッ	30秒間点滅後消灯
システムOFF (8回警報) 迷惑防止機能(P.15)	ピッピッピッピッピッ	30秒間点滅後消灯



ヒント

警報履歴を示す LED 点滅は、エンジン始動でリセットできます。

充電アラート機能

専用バッテリーの残量が約30%以下になると、システムON/OFFの時に「ピッピッピッ」と確認音が鳴ってお知らせします。



ヒント


- 充電アラートが鳴りはじめたら、エンジン始動して2時間以上の充電を行ってから使用してください。

各種機能の紹介

スリープモード

スリープモード

専用バッテリーの残量が約20%以下になるとスリープモードになります。スリープモード中は、LEDが消灯しリモコン操作ができません。

メインユニットの  ボタン I を1回(1秒ほど)押すことで復帰します。リモコン操作もしくは強制解除(P.26)でシステムOFFしてください。

ディープスリープモード

専用バッテリーの残量が約10%以下になるとディープスリープモードになります。LEDは消灯しリモコン操作、メインユニットのボタン操作も受け付けません。強制解除(P.26)を実行の上、充電してください。



注意

- スリープモードに入った場合は、必ず強制解除 (P.26) 操作をしてからエンジン始動を行い2時間以上の充電をしてください。

セキュリティ保持(レジューム機能)

システムON中は、スリープモード/ディープスリープモードでもアクセサリONセンサーは警戒を続け、不正なエンジン始動を検知して警報します。



ヒント

- アクセサリ ON センサーを作動させない場合は、機能設定メニュー 1、項目番号 4 (P.30) の「アクセサリ電源入力」をオールシャント (システム OFF) に設定してください。変更後は、エンジン始動 (アクセサリ ON) で自動的にシステム OFF になります。



注意

- システム ON してから1週間以上経過するとディープスリープモードになっています。リモコン操作によるシステム OFF ができませんので、必ず強制解除 (P.26) してから乗車してください。
- 保安上、エンジン作動中はリモコンの操作を受け付けません。リモコン操作をする場合は、必ずエンジンが停止している状態で行ってください。

各種機能の紹介

迷惑防止機能 (NPC)

近所迷惑などを防止するため、センサーが連続して反応し、警報することを防止する機能です。

システムON中に合計 8 回警報した場合は、9回目以降は警報しません。

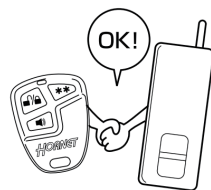


ヒント

システムをOFFにすると迷惑防止機能 (NPC) はリセットされます。

エンジンスターター・ターボタイマー併用機能

純正もしくは市販のエンジンスターターやターボタイマーと併用できます。併用するには、下記の設定を行ってください。



設定方法

エンジンスターターと併用する場合は、下記の設定変更 (P30) を行ってください。

- 設定メニュー 1、項目番号 3 の「オートシステム ON」を 30 秒に変更します。
- 設定メニュー 1、項目番号 4 の「アクセサリ電源入力」をオールシャント (システム OFF) に変更します。

操作方法

- 1 システムON中に純正もしくは市販のエンジンスターターからエンジン始動します。
- 2 エンジン始動を検知してオールシャント (システムOFF) します。
- 3 アイドリングが終了してから30秒後に自動的にシステムONします。



ヒント

- ターボタイマーは、ターボタイマーによるアイドリングが終了してから 30 秒後に自動的にシステム ON になります。
- アイドリング中はシステム OFF のためセンサーは作動していません。



注意

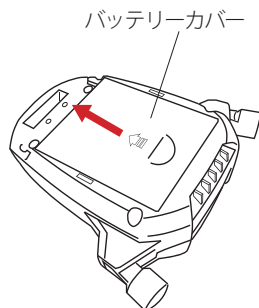
- エンジンスターター / ターボタイマーと併用する場合は、アクセサリ ON センサーは作動しません。不正なエンジン始動の検知による警報はしません。

使用前の準備

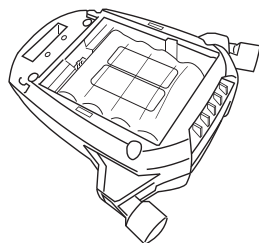
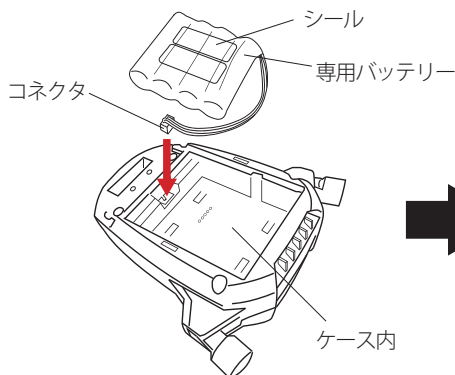
車載対応ニッケル水素バッテリーの接続

使用する前に車載対応ニッケル水素バッテリー（以下、専用バッテリー）をメインユニットに接続してください。

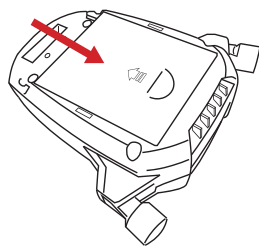
1 メインユニットのバッテリーカバーを押しながらスライドさせて取り外します。



2 専用バッテリーのコネクタを接続し、シールが貼ってある面を上にして、ケース内に配置します。



3 バッテリーカバーをスライドさせて戻します。



注意

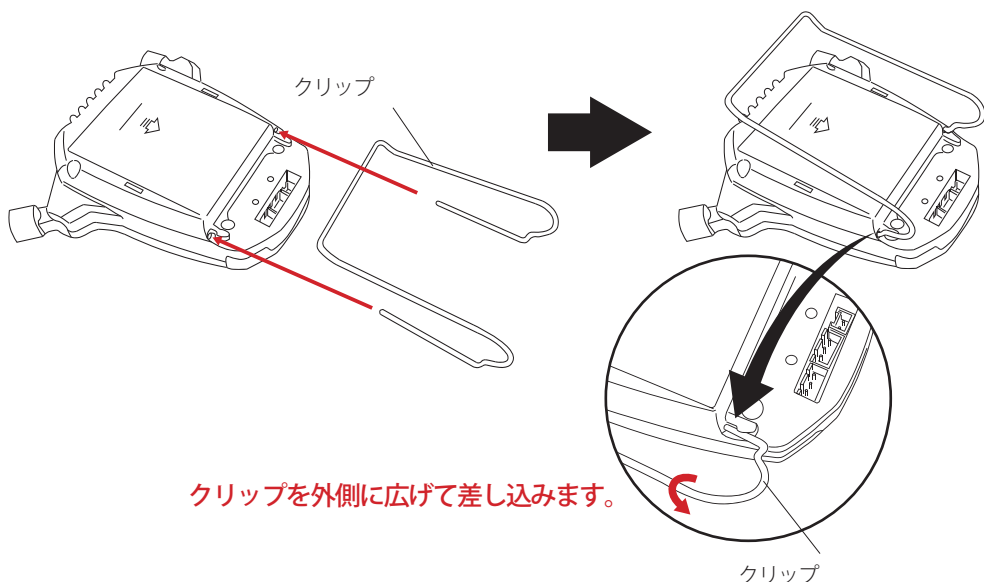
- 専用バッテリーを設置する時は、ハーネスを下側に引き回してください。
- ハーネスを引っ張ったり、強い力を加えないでください。破損する可能性があります。
- 専用バッテリーのコネクタには極性があります。形状に合わせて接続してください。
- 専用バッテリーは消耗品です。使用開始してから3年以内に新品の専用バッテリー（車載対応ニッケル水素バッテリー 604T）に交換してください。
- 安全のため専用のバッテリー以外は使用しないでください。
- 専用バッテリーの交換の時は、システム OFF の状態で取り外してください。システム ON の状態で取り外すとセキュリティ保持 (P.14) によりシステム ON で復帰し、センサーが検知して警報する場合があります。

使用前の準備

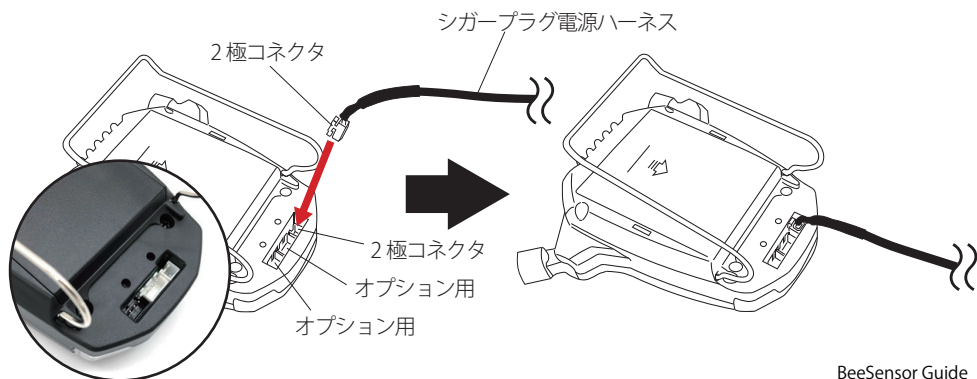
サンバイザー設置用クリップとシガープラグ電源ハーネスの接続

サンバイザー設置用クリップ(以下クリップ)とシガープラグ電源ハーネスを下記のように接続してください。

- 1 クリップは、メインユニットに差し込まれています。
メインユニット設置時に使用しますので外さないでください。
※外した場合は、下記の図のように差し込み直してください。



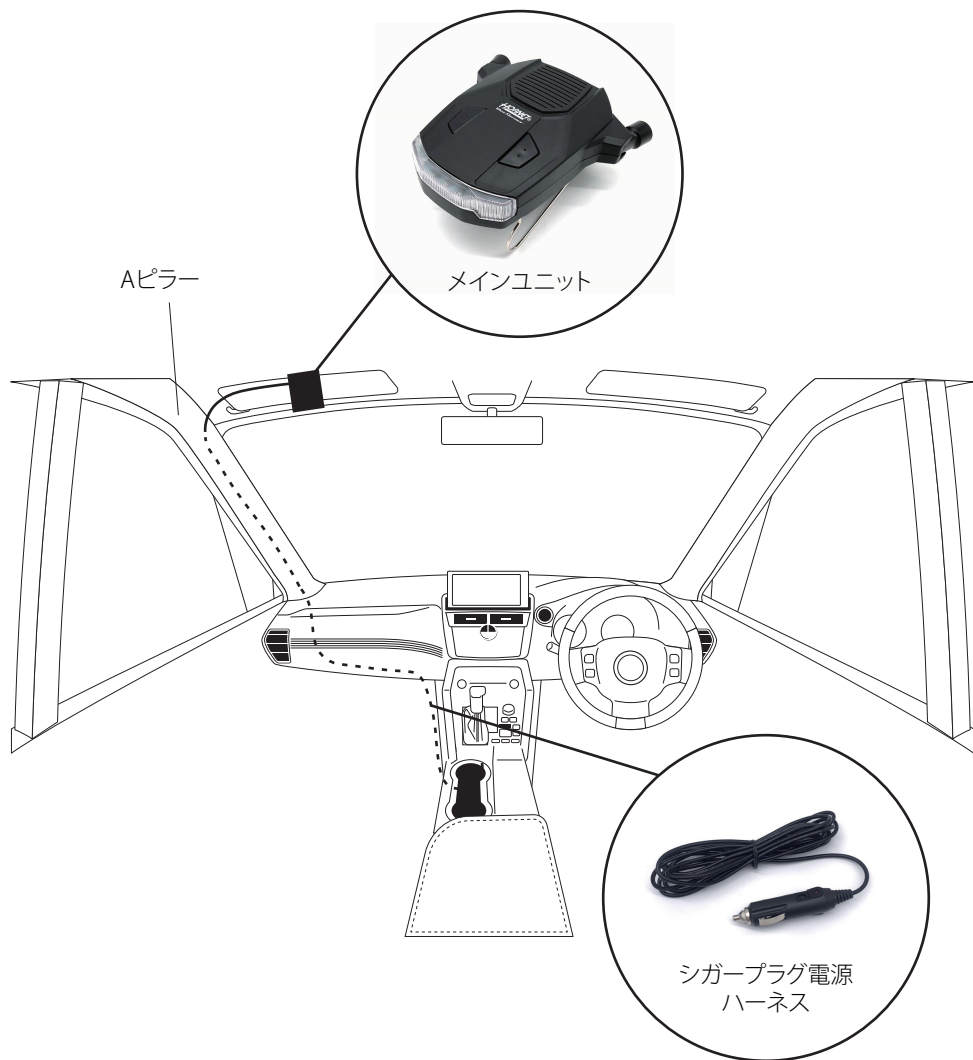
- 2 シガープラグ電源ハーネスの2極コネクタをメインユニットの2極コネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



設置方法

設置イメージ

メインユニットを助手席のサンバイザーに設置し、シガープラグを車両シガーソケットに差し込みます。



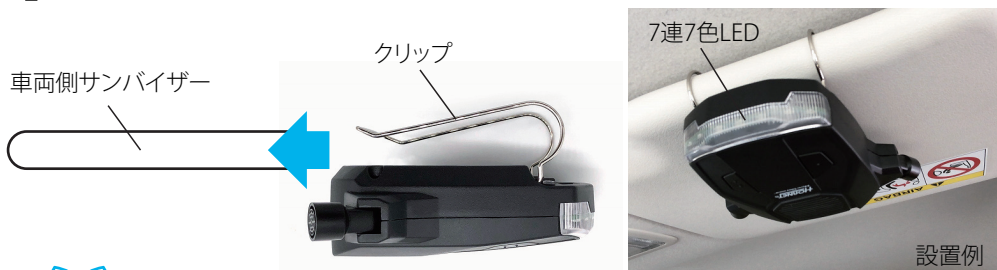
ヒント

- 車両にシガーソケットが無い場合は、別売の直接電源取り出しハーネス (型式: 656H) をシガープラグ電源ハーネスの代わりに接続してください。配線工事が伴いますので弊社ホームページに掲載されているホーネット取付店にご依頼ください。

設置方法

メインユニットの固定と2段階超音波センサーマイクの調整

1 助手席のサンバイザーにクリップで挟み込むようにメインユニットを固定します。



ヒント

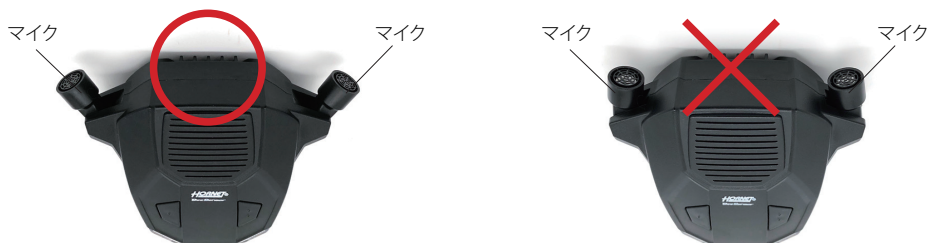
メインユニットの7連7色LEDがフロントガラス側になるように設置してください。



注意

- 運転の妨げにならないように助手席側のサンバイザーに固定してください。
- クリップを無理に押し込まないでください。サンバイザーを傷つける恐れがあります。
- クリップの挟み込みによる凹み跡が残る場合があります。あらかじめ接触部分に付属のスポンジテープや市販のタオル等で保護してください。
- サンバイザーの素材により摩擦力が少なくメインユニットが落下する恐れがあります。付属のスポンジテープを接触部分に貼るなど、滑り止めとしてお使いください。

2 2段階超音波センサーのマイクの向きを調整します。 マイクが向き合わないよう広がってください。



注意

- マイクを広げ過ぎると2段階超音波センサーが検知できない場合があります。

3 シガープラグ電源ハーネスを車両Aピラーに沿うように引き回します。 (P.18) 参照ください。

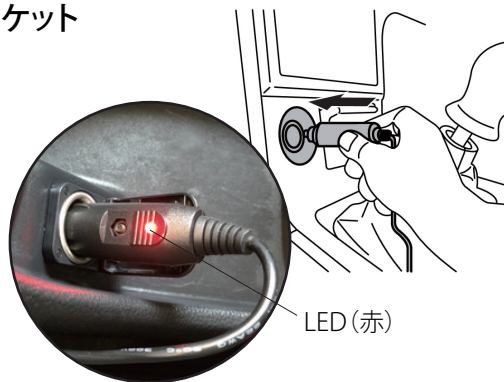
次のページへ

設置方法

シガープラグ電源ハーネスの接続および専用バッテリーの充電

4 シガープラグを車両のシガーソケットに差し込みます。

5 エンジンを始動してください。シガープラグのLEDが赤色に点灯します。




エンジンを始動して本製品の専用バッテリーを充電してください。



ヒント

- はじめてご使用になる時は、2 時間以上充電してください。
- 本製品は、お買い上げの時にはテスト用に充電しておりますが、ご使用前には必ず充電を行ってください。

6 充電が完了したら、エンジンを停止します。

7 メインユニットの  ボタン I を 5 秒以上押し続けます。
「ピーーッ」とブザー音が鳴りメインユニットの主電源ONになります。

⚠ 約 90dB の大きな音が鳴りますので注意してください。⚠



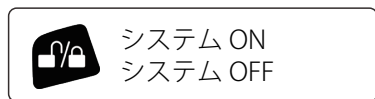
注意

- 満充電の状態になるには、およそ 3 時間の連続した充電が必要です。
- 満充電で約 1 週間の使用ができます。警報の回数が多い場合などの条件によっては使用できる期間が短くなります。
- バッテリーの寿命は約 3 年です。寿命を超えると充電しても使用できる期間が極端に短くなります。新しい専用バッテリー（車載対応ニッケル水素バッテリー 604T）に交換してください。
- 長期間本製品を使用しない場合は、本製品を車両から取り外し、バッテリーを外した状態で保管してください。
- 不要になった専用バッテリーは、必ず自治体指定の方法で廃棄してください。

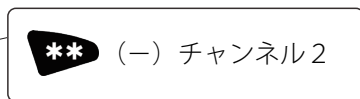
基本的な操作方法

リモコンのボタンについて

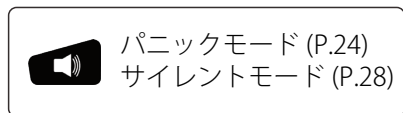
LED (赤) ※操作時点灯します。



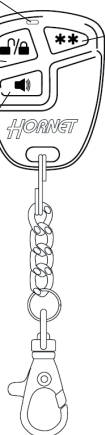
システム ON
システム OFF



** (一) チャンネル 2



パニックモード (P.24)
サイレントモード (P.28)



リモコン 493VⅡ、493VⅢ
(特定小電力リモコン)

その他の操作



システム ON/OFF
消音機能 (P.25)



コンビニモード (P.25)



ヒント

- リモコンのボタンは、押し続けられることを防止するために時間の制限を設けています。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものです。消耗品のため、ご購入後に使用できる期間に差があります。電池が消耗している場合には、新しい電池をお買い求めください。
(電池：CR2032×1)
- 新品のボタン電池でおおよそ1年間、リモコンを使用することができます。※使用頻度で変動します。

メインユニットのボタンについて

ボタンⅠ



主電源 ON
システム ON
設定変更



ボタンⅡ




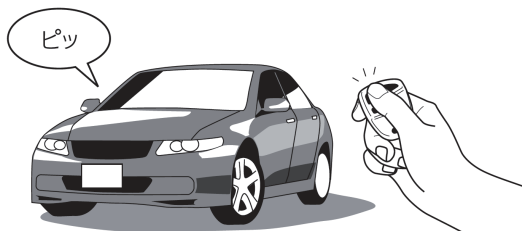
強制解除
設定変更

基本的な操作方法

システムON

操作方法

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 車両から降りてすべてのドアを閉めます。
- 3 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 4 「ピッ」と確認音が鳴りシステム ON になります。
- 5 システム ON 中は、LED が点滅します。



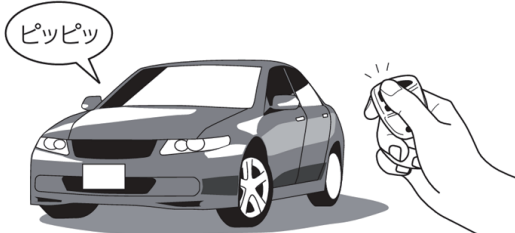
ヒント

- LED の点滅カラーの初期設定はレッドです。お好みの点滅カラーに変更することができます。（P.11 および P.31 参照）
- 確認音が「ピッピッピッ」と3回鳴る場合は、充電アラート機能（P.13）が作動しています。内蔵の専用バッテリー残量が少ないことを示しています。充電してください。

システムOFF

操作方法

- 1 システム ON 中にリモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 2 「ピッピッ」と確認音が2回鳴りシステム OFF になります。
- 3 LED は消灯します。





ヒント

- 「ピッピッピッピッ」と確認音が4回鳴った時は、システム ON 中に警報したことを示しています。「ピッピッピッピッピッ」と確認音が5回鳴った時は、システム ON 中に8回警報したことを示しています。（P.13）
- 確認音が「ピッピッピッ」と3回鳴る場合は、充電アラート機能（P.13）が作動しています。内蔵の専用バッテリー残量が少ないことを示しています。充電してください。

基本的な操作方法

2段階超音波センサーの動作チェック(動き・振動・衝撃)

車内で人が動いた時(車内侵入)に警報することを確認します。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 システム ON にします。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 3 車内で小さめに動きます。
----- 運転席、助手席エリア、リア左右、バックドアエリアの確認をしてください。-----
- 4 「ピッピピピ」と内蔵ブザーから警告音が鳴ることを確認します。
- 5 車内で大きく動きます。
----- 運転席、助手席エリア、リア左右、バックドアエリアの確認をしてください。-----
「ビーッビーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
- 6  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 7  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF してください。



注意

風が入り込まないように窓や外気口を閉めてください。



注意



- 警報音が 90dB の大音量で鳴りますので注意してください。不用意に人やペットの近くで動作チェックしないでください。聴覚障害になる恐れがあります。



ヒント

- 車内で動いても警告音が鳴らない、または警報しない場合は、2 段階超音波センサーの感度調整を行ってから、もう一度確認してください。(P.29)

車両に振動・衝撃を加えて警報することを確認します。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 車両から降りてすべてのドアを閉めます。
- 3 システム ON にします。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 4 ドアガラスに弱めの衝撃を加えてください。
----- 運転席、助手席、リア左右、バックドアのガラスの確認をしてください。-----
- 5 「ピッピピピ」と内蔵ブザーから警告音が鳴ることを確認してください。
- 6 ドアガラスに強めの衝撃を加えてください。
----- 運転席、助手席、リア左右、バックドアのガラスの確認をしてください。-----
「ビーッビーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
- 7  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 8  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF してください。



ヒント

振動や衝撃を加えても警告音が鳴らない、または警報しない場合は、感度調整 (P.29) を行ってから、もう一度確認してください。





注意

- 振動や衝撃を加える際は、ガラスにタオルなどを当てて保護した状態で行ってください。ガラスが割れるなどの損害が発生しても、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 車体やボディーなどに衝撃を加えると凹む可能性があります。注意してください。

基本的な操作方法

2段階超音波センサーの動作チェック(ドア開け)

ドア開けで警報することを確認してください。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 車両から降りてすべてのドアを閉めます。
- 3 システム ON にしてください。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 4 ドアを開けて「ピーッピーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
----- 運転席、助手席、リア左右、バックドアの確認をしてください。-----
- 5  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 6  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF してください。





ヒント

ドアを開けても警報しない場合は、2 段階超音波センサーマイクの向きを調整してください。(P.19)

アクセサリONセンサーの動作チェック

エンジンを始動して警報することを確認してください。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 システム ON にしてください。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 3 エンジン始動で「ピーッピーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
- 4 エンジンを停止してください。
- 5  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 6  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF してください。




注意

- エンジン作動中は、警報は止められますがシステム OFF できません。必ずエンジンを停止してからシステム OFF の操作をしてください。

パニックモード(強制警報)


リモコン操作で強制的に警報を鳴らすことができます。不審者が近くにいる場合や緊急時に異常を周囲に知らせる場合の防犯機能です。

操作方法

- 1 システムONにします。
- 2 リモコンの  ボタンを 3 秒以上押し続けます。
- 3 警報音が鳴ると同時にLED(グリーン)が点滅します。



ヒント

- パニックモードは、システム ON 中のみ使用できます。システム OFF では使用できません。
- 警報は 30 秒後に自動的に止まりますが、警報中にもう一度  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押すことで警報が止まります。





点滅 (グリーン)

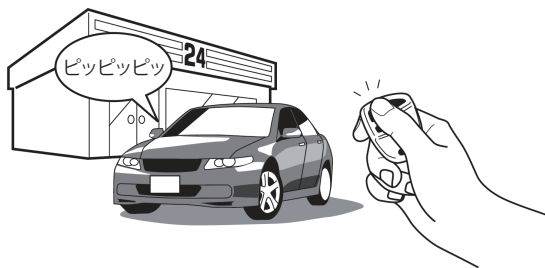
応用的な操作方法

2段階超音波センサーをキャンセルしてシステムON (コンビニモード)

幹線道路周辺やコンビニなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコンで2段階超音波センサーをキャンセルしてシステムONできます。

操作方法

- 1 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押してシステムONします。
- 2 3秒以内に  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 「ピッピッピッ」と確認音が鳴り、2段階超音波センサーがキャンセルします。





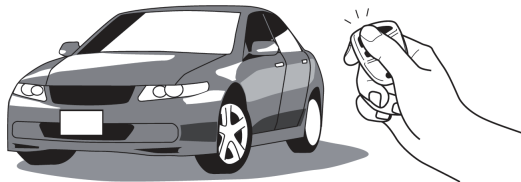
ヒント

- コンビニモードは、システムOFFにするとリセットします。

確認音を鳴らせずにシステムON/OFF (消音機能)

操作方法

- 1 リモコンの  ボタンを1回押します。
----- 2秒以内 -----
- 2  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 確認音は鳴らせずにシステムON/OFFできます。



ヒント

- 深夜など確認音を鳴らしたくない時に便利な機能です。

応用的な操作方法

オートシステムON

エンジン停止してから設定した時間に自動的にシステム ON することができます。

操作方法

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 LEDのカウントダウン点滅（レッド）が始まります。
- 3 車両から降り、すべてのドアを閉めます。
- 4 設定時間後に「ピッ」と確認音が鳴り、システム ON します。



カウントダウン点滅
（レッド）



ヒント

- 機能設定メニュー 1、項目 3「オートシステム ON」を「30 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分」のいずれかに設定変更してください。（P.30）




注意

- エンジンを停止してから設定した時間よりも遅く降車した場合は、センサーが人の動きを検知して警報します。

強制解除


リモコン紛失など何らかの理由でシステムOFFができなくなった時に強制的にシステムをOFFにすることができます。

操作方法

- 1 アクセサリーON (ACC) にします。
----- 5 秒以内 -----
- 2 メインユニットの  ボタンⅡを 3 回 (1 秒ほど) 押します。
- 3 「ピッピッピッピッ」と確認音が鳴りシステムOFFになります。



ヒント


- アクセサリ ON (ACC) の方法は、車種により異なります。詳しくは車両付属の取扱説明書をご参照ください。
- セキュリティ強化のため  ボタンⅡを押す回数を 3 回（初期設定）から 1 ～ 8 回に設定変更（P.30）できます。
- 強制解除の操作を間違えた場合は、最初からやり直してください。

応用的な操作方法

リモコンを使わないシステムON/OFF (メインユニットのボタン)

リモコンを使わずにシステムON/OFFを行う方法です。リモコンを携帯したくない場合に便利な機能です。

システムONの操作方法

- 1 すべての窓を閉めて、エンジン停止します。
- 2 メインユニットの  ボタン I を 1 回 (1 秒ほど) 押します。
- 3 「ピッ」と確認音が鳴り、システム ON (センサー作動 15 秒前) します。
- 4 15 秒以内に降車してドアを開めます。
- 5 センサーが作動します。



設定方法

- 機能設定メニュー 1 の項目番号 1 「警報開始遅延時間」を「5 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 1 分 / 3 分 / 10 分 / 15 分」のいずれかに変更します。項目番号 4 「アクセサリ電源入力」を「オールシャント (システム OFF)」に変更します。(P.30)

注意

- システム ON してから 15 秒以内に降車できない場合は、2 段階超音波センサーが車内の動きを検知して警報します。

システムOFFの操作方法

- 1 ドアを開けて「警報開始遅延時間」で設定した時間以内にエンジン始動します。
- 2 「ピッピッ」と確認音が鳴り、システム OFF になります。

注意

- ドアを開けてから設定時間以内にエンジン始動できない場合は、2 段階超音波センサーが車内の動きを検知して警報します。

モード切替機能


セキュリティモード⇄サイレントモード

本製品は、2つのモードがあります。切り替えて使用することができます。


セキュリティモード(初期設定)

警告音、警報音が鳴り、LEDがフラッシュ点滅するモードです。

サイレントモード

警告音、警報音は鳴らず、LEDがフラッシュ点滅するモードです。
エンジン停止後に内蔵ブザーが鳴り、LEDはグリーン点滅を開始します。
 ボタンを1回(1秒ほど)押すと5分後にシステムONになります。
エンジン始動でシステムOFFにできます。

モード切替方法(セキュリティ→サイレントモード)

- 1 システム OFF にします。
- 2 メインユニットの  ボタンⅡを5秒以上押し続けます。
- 3 「ピーーッ」と確認音が1回鳴りサイレントセキュリティモードになります。

ヒント


●サイレントモードは、自動的に機能設定が下記に変更されます。

【設定メニュー 1、項目 3 の「オートシステムON」→5分】

【設定メニュー 2、項目 2 の「LED点滅カラー」→ブルー】

【設定メニュー 2、項目 3 の「内蔵ブザーの音量」→小(約70dB)】


エンジン停止後、車内を促すブザー音を止めた後、5分後に自動的にシステムONします。

※リモコンの  ボタンでブザー音を止めます。パニックモード(P.24)は使用できません。

【設定メニュー 1、項目 4 「アクセサリ電源入力」→オールシャント(システムOFF)】

システムON中にエンジン始動(アクセサリON)するとシステムOFFになります。

モード切替方法(サイレントモード→セキュリティモード)

- 1 システム OFF にします。
- 2 メインユニットの  ボタンⅡを5秒以上押し続けます。
- 3 「ピーーッピーーッ」と確認音が2回鳴りワンタッチセキュリティモードになります。

ヒント

●セキュリティモードに戻ると機能設定メニュー1、2共に初期設定(P.29～30)になります。
設定変更していた場合は、再度変更し直してください。

センサー感度調整方法

2段階超音波センサーの感度調整方法

リモコンの操作から0～15レベルでセンサー感度調整ができます。
警告感度、警報感度それぞれ独立して調整できます。

警告感度調整(初期設定:10)

①システムOFFにします。

警報感度調整(初期設定:3)

①システムONにします。



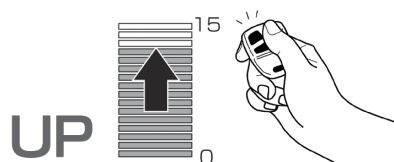
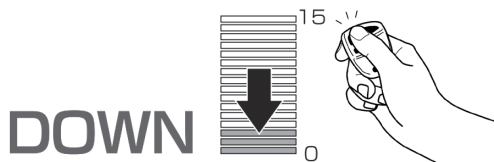
- ②5秒以内にリモコンの ****** ボタンを3秒以上押します。
- ③「ピーーッ」と確認音が鳴り、感度調整モードに入ったことを示します。
- ④5秒以内に下記の感度調整を行ってください。


感度調整モード

 ボタンと ****** ボタンを押して感度の変更を行います。

感度を下げる場合(最小0)

感度を上げる場合(最大15)



 ボタンを押す(1秒ほど)たびに
「ピッ」と確認音が鳴り、感度が
一つ下がります。

****** ボタンを押す(1秒ほど)たびに
「ピッピッ」と確認音が鳴り、感度が
一つ上がります。

ヒント

- 感度レベル0の時は、センサーは検知なくなります。
- メインユニットのLEDの点滅数の変化により感度レベルを視覚的に確認することができます。
- ※警告感度調整モード:LED(ブルー)
- ※警報感度調整モード:LED(グリーン)

2次元コードを読み取ってください。
感度調整モードを動画で確認できます。



- ⑤お好みの感度調整後、ボタンを離し5秒以上経過すると「ピッピーー」と確認音が鳴り設定が完了します。

機能設定方法

機能設定メニュー 1

項目番号	設定項目	確認音	 ボタン 確認音“ピッ”	 ボタン 確認音“ピッピッ”→“ピッ× 3 回” →“ピッ× 4 回”→“ピッ× 5 回” →“ピッ× 6 回”→“ピッ× 7 回”
1	警報開始遅延時間	ピッ× 1 回	OFF	5秒/15秒/30秒/1分/3分/10分/15分
2	警報時間	ピッ× 2 回	5秒	10秒/30秒/1分
3	オートシステムON	ピッ× 3 回	OFF	30秒/1分/5分/10分/15分
4	アクセサリ電源入力	ピッ× 4 回	センサー	オールシャント (システムOFF)
5	チャンネル 2 出力	ピッ× 5 回	ボタン押し中	30秒/3分/30分/60分/常時
6	チャンネル 2 リンク	ピッ× 6 回	OFF	エンジン停止/エンジン始動/警告/ 警報/システムON/システムOFF
7	チャンネル 2 リセット	ピッ× 7 回	OFF	エンジン停止/エンジン始動/警告/ 警報/システムON/システムOFF
8	強制解除ボタン設定	ピッ× 8 回	1	2/3/4/5/6/7/8

1. 警報開始遅延時間

センサーが検知してから警報するまでの時間を設定変更できます。

2. 警報時間

警報 (警報音 + LED点滅) する時間を設定変更できます。

3. オートシステムON

エンジン停止してから自動的にシステムONする時間を設定変更できます。

4. アクセサリ電源入力

防犯重視のアクセサリONセンサー(P.9)かエンジンスターター併用など利便性重視のオールシャント (システムOFF) に設定変更できます。

5. チャンネル 2 出力 (オプション)

オプションハーネス (オプション) 接続時に赤/白線から出力する時間を設定変更できます。

6. チャンネル 2 リンク (オプション)

オプションハーネス (オプション) 接続時に赤/白線から出力する方法をリモコン操作以外に追加できます。







7. チャンネル 2 リセット (オプション)

オプションハーネス (オプション) 接続時に赤/白線から出力した後、停止する方法を設定できます。

機能設定方法

機能設定メニュー 1 の設定変更





設定変更方法 ※システムOFFの状態で行ってください。

- ①専用リモコンの  ボタンを 1 回 (1秒ほど) 押してシステムONにします。
- ②専用リモコンの  ボタンを 1 回 (1秒ほど) 押してシステムOFFにします。
- ③5秒以内に  ボタンと  ボタンを同時に押し続けます。
- ④「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」・・・とブザー音の回数とLED点滅数で項目番号を確認します。
- ⑤設定変更したい項目番号でボタンを離します。
- ⑥ 5 秒以内に  ボタンもしくは  ボタンを押して確認音の回数を確認し、お好みの設定を選択します。
- ⑦選択が完了したらボタンを押さずに10秒間待ちます。
- ⑧「ピッピーッ」と確認音が鳴り設定が完了します。

機能設定メニュー 2

項目番号	設定項目	確認音	 ボタン I 確認音“ピッ”	 ボタン II 確認音“ピッピッ”→“ピッ× 3 回” →“ピッ× 4 回”→“ピッ× 5 回” →“ピッ× 6 回”→“ピッ× 7 回”
1	LED点滅パターン	ピッ× 1 回	タイプ A	タイプ B/C/D/E/F/G/H
2	LED点滅カラー	ピッ× 2 回	レッド	ブルー/ホワイト/グリーン/オレンジ/ パープル/イエロー/ランダム
3	内蔵ブザーの音量	ピッ× 3 回	小 (約70dB)	中 (約80dB) /大 (約90dB)
4	内蔵ブザー音量 (サイレントモード時)	ピッ× 4 回	リズム A	リズム B/リズム C

設定変更方法 ※システムOFFの状態で行ってください。

- ①メインユニットの  ボタン I と  ボタン II を同時に押し続けます。
「ピーッピッ」「ピーッピッピッ」・・・と確認音が鳴り設定項目番号が進みます。
- ②設定したい項目番号の確認音が鳴り終わった後、ボタンを離します。
- ③  ボタン I もしくは  ボタン II を押してお好みの設定を選択します。
- ④選択が完了したらボタンを押さずに10秒間待ちます。
- ⑤「ピッピーッ」と確認音が鳴り、設定完了です。

電池の交換方法

リモコンの電池交換方法

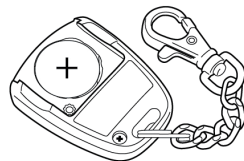
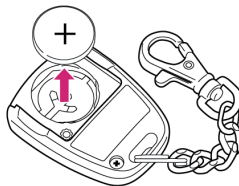
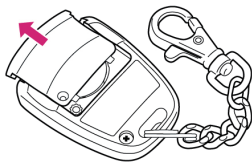
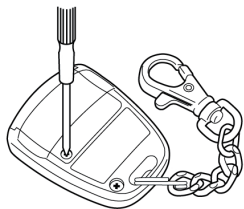
リモコンの電池が消耗した場合は、新しい市販の「CR2032」型のボタン電池に交換してください。

①電池蓋のビスを外します。

②電池蓋を矢印の方向にスライドさせます。

③古い電池をリモコンから外します。

④新しい電池を入れます。

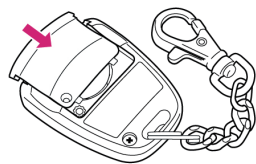


⑤電池蓋を元に戻しビスを止めます。



ヒント

- ⊕の精密ドライバーを使用してください。
- 電池の極性に注意してください。(+) 極が上です。



注意

- 電池交換の際は、リモコンケースを傷つけないように十分注意してください。
- あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した乾いた手で行ってください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が入らないように十分注意してください。
- 不要になった電池は、必ず自治体指定の方法で廃棄してください。

製品仕様

型式	BEE737-S
電源電圧	国産DC12V車シガープラグ電源専用
専用バッテリー	4.8V/1,100mAh (車載対応ニッケル水素バッテリー)
警報音圧	最大90dB (約70dB、約80dB、約90dBから選択可能)
平均消費電流(待機時)	約2mA
平均消費電流(警戒時)	約5mA
平均消費電流(警報時)	約9mA
本体動作保証温度	約-40℃～+85℃
専用バッテリー動作保証温度	約-40℃～+85℃
推奨充電温度	約0℃～+50℃
メインユニット外形寸法	約W111×D111×H38mm
質量	約250g (専用バッテリー、サンバイザー設置用クリップ含む)

493VⅡ:  R 008YUA080117

493VⅢ:  R 008-240456

Q&A、トラブルシューティング

Q&A

質問	回答
専用バッテリーの交換時期は、いつですか？	使用頻度にもよりますが、専用バッテリー（型式：604T）は、およそ3年間使用できます。3年以内に新品に交換することをおすすめします。
リモコンを追加できますか？	最大 4 個まで登録できます。リモコン型式：493VⅡまたは493VⅢを追加できます。
リモコンのボタン電池はどれくらいの期間使えますか？	新品のボタン電池（CR2032）で約 1 年使用できます。リモコン付属の電池は出荷前試験で使用しています。必要に応じて新品の電池に交換してください。
超音波センサーは、大型ミニバンやSUV車のドア開けを検知できますか？	2 段階超音波センサーの検知範囲は、およそ 4 m です。4 m 以内であればバックドアの開閉も検知できます。
センサーが検知しても警報音が鳴らない用にできますか？	サイレントモード（P.28）にモード変更することで警報音は鳴らなくなります。センサー検知時は、LED点滅で犯人を威嚇します。
ボンネットやトランクのこじ開けも検知できますか？	別売のワイヤレスドアセンサー(571W)を追加、取り付けすることで検知できます。最大4個まで登録できます。
警報時に車両ホーンを鳴らすことはできますか？	別売のオプションハーネス(658H)とミニリレー(8616)を追加することで警報時、車両ホーンを鳴らすことができます。
24Vの車両にも使用できますか？	別売の24V用DCDCコンバーター(BEE-24DC)と直接取り出し電源ハーネス(656H)を追加して取り付けることで24V車両で使用できます。

トラブルシューティング

症状と原因	対策
リモコンの操作ができません	<ul style="list-style-type: none">・リモコンの電池を交換してください。電池残量が少ない可能性があります。・近くに電波塔など強い電波が出ている場合、操作ができない時間帯があります。時間を空けたり、場所を移動して操作してください。
超音波センサーが反応しません	<ul style="list-style-type: none">・感度を確認してください。（P.29）・2 段階超音波センサーマイクの向きを調整(P.19)してください。左右に大きく広げ過ぎるとセンサーが検知できない場合があります。・マイクにほこりやゴミが混入している場合は、綺麗に取り除いてください。
何も無いのに警報音が鳴ります	<ul style="list-style-type: none">・すべての窓を閉めてください。超音波センサーが空間の変化を検知しています。・外気口から入る風を検知している可能性があります。エアコンを内気にしてください。・感度を下げてください。（P.29）トラックなど大型の車両が通過した際の振動を検知している可能性があります。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理いたします。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用いただけるサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへのユーザー登録をお勧めします。
- 製品保証 2年（一般）、3年（プレミアム）など充実したサポートをお約束します。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお願いします。詳しくは下記URLをご参照ください。

<https://shop-security-lounge.com/shopdetail/000000000080/>



保証書について

- 保証書は本書に添付しております。ご購入の際は大切に保管してください。保証書に販売店名やご購入年月日等の必要事項の記載がない場合、保証期間中でも有償修理となります。
- 「セキュリティラウンジあんしんサポート」にユーザー登録をいただくと保証期間中は、保証書を紛失した場合でも当社保証規定に基づき修理いたします。
- シリアル番号は安全管理上重要なものです。ご購入の際には本体に貼付されているシールに記載のシリアル番号をお確かめください。

検査・修理を依頼されるときは

- 故障とお考えになる前にトラブルシューティングをご確認いただくとともに販売店・取付店または当社にご相談ください。
- 保証書の同封/提示の上、下記の1から6の情報を添えて検査・修理をご依頼ください。セキュリティラウンジあんしんサポートにユーザー登録いただいている場合も同様に下記の1から6の情報を添えてください。

- 1 製品名およびシリアル番号
(例: BEE737-S 0012345678)
- 2 ご依頼内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ販売店、取付店の記載および署名捺印
- 5 お客様のお名前、住所、連絡先電話番号の記載
- 6 装着した車両の車種、年式、型式

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、検査・修理を依頼される時の送料、取り付け、取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

<https://kato-denki.com/support/contact/index.html>



《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口に直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたは販売店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご不明な点は、弊社カスタマーセンターまたは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製造発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10